



黎明会は、お蔭様で今年で64年目を迎えます。この間、黎明会を支えてこられた諸先輩、関係者、職員の努力に想いを馳せると、深い畏敬の念と共に身の引き締まる思いがいたします。

さて、社会福祉法人運営に弾力性、自己責任性が求められている中、昨年は、当法人も新たな運営基盤を整え、時代のニーズに応えるために、3つの大きなプロジェクトを動かし始めました。

一つは、老朽・狭隘化し、十分な事業の展開ができなくなっている南台病院と特別養護老人ホームやすらぎの園等の今後の方針についての基本構想の検討です。既に亘る有識者のご意見を伺い、2月に3回、医療・福祉・経営諸分野に亘る有識者の方々に、その方向を纏めることにしております。今は平行して資金確保の手立てや利用者に支障が及ばない方策を検討しており、見通しが立ちましたら役員会の承認を得て、所要の作業を進めてまいりたいと

あけましておめでとうございます。皆様には、心穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

<b>黎明会だより</b>	
<b>No. 104</b>	
編集社 黎明	発行人 会
〒187- 東京都小平市 0032 小川町1-485 ☎ 042-346-6611 <a href="http://www.reimeikai.or.jp">http://www.reimeikai.or.jp</a>	

考っています。  
二つ目は、新たな給与制度の構築です。前年度の検討委員会の報告を踏まえ、施設長等の年俸制の実施を予定しているほか、他職員の給与体系については、4月から職員代表も含めて設計委員会で検討しています。またまり次第、職員に説明し、職員組合とも協議をしていく予定です。会事業を今後も更に発展させ続けるためには避けて通れないことですので、ご理解をお願いします。

三つ目は、有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷の介護需要の増大への対応です。設立から24年が経ち、入居者の平均年齢の上昇と共に、介護ニーズが増大し、今後もその傾向は更に進むことが見込まれ、介護居室を新たにどこに、どのように設けるかの検討を進めています。

今年は、このプロジェクトを更に前へ進め、当会事業をこれからも一層、時代の求めに応じて維持



社会福祉法人 黎明会

理事長 鈴木可人

## 年頭所感

新たな魂を吹き込む年に

発展させ、地域から信頼されるとを目指していきます。  
昨年来の深刻な不況下、社会福祉事業が引き続き国民の理解を得ていくためには、そこに働く我々の職員に求められるものも変化しています。また利用者サービスのあり様が問われています。急速に少子高齢化が進む中、医療・福祉分野の職員に求められるものも変化し複雑化しています。次代の従事者には、斬新な意識と技術に裏づけられた実践力と応用力が必要になっています。そして、利用者を中心と考え、医療・福祉の密接な連携の真の実現が求められています。我々は、何のためにサービスをしているのかサービスの質を上げるには組織や事業間の連携はどうあるべきか、もう一度足元を見直す必要があります。職員の意識が高まり、組織が更に生き生きとなれば、自ずと事業の成果と周囲の信頼は高まるものと信じます。

今年を、黎明会に新たな魂を吹き込む年として、役職員と共に努めてまいります。

# 初春のお慶びを申し上げます

社会福祉法人 黎明会

常務理事 松田 雅司

1年が12月、365日であることは、新たな希望と目標を持つ区切りのサイクルとして、性急好きな日本人の気性に最も合っていると言います。

又1年、皆様のお力添えを頂きながら、黎明会の新たな目標達成に努めてまいります。とは申せ、齡は黎明会が経た年数と同じ。朝刊を取りに行く際に時々階段で平衡感覚が鈍つたり、たまの夜の割り勘も年々効率を欠いてきました。

一方の黎明会は、長い伝統が生きていて、特別な課題を除くと日々の事業は着実に運んでおり、組織の厚さと底堅さを感じます。昨年行った職員のモラールサーベイでも職員意識のレベルは全国平均値をやや上回る健全で安定した姿であるとの分析結果でした。

先日、近隣自治会の役員さんから「介護保険体系の中で、黎明会がどんな事業メニューを整えているのか学びたい」と見学会のご提案をいただき、早速に実施しました。日頃の防災応援・ボランティア活動・各種行事へのご協力等を通じて、連帯が深まっていることを嬉しく思う一方で、当会が皆様にどれだけ応えられてきたかを考えさせられました。今後の会運営に当たっては、従来に増して近隣への貢献策を考え、会からの発信、相談窓口の一本化、多様なサービスの機的な連携を名実共に早期に整えなければとの感を強くしました。

今年も心身のメンテナンスをできるだけ怠らず、心の青春と余裕を心がけながら頑張ってまいります。

理事・南台病院

院長 中健彦

日直を仰せつかりました。急性期病院では年末の気忙しさが不思議な。「こいつは春から縁起が良いわい。」と言う訳で平成21年元旦の落着いた元旦を迎えます。迎春、当院の併まいは? 次の機会にお伝えしましょう。

年頭に当たり当院の理念、「医療連携をとりつつ快適な環境で明るく心のこもった質の高い医療を地域の方々に提供する。」を再確認し、職員にとつても楽しく誇りを持つて働く病院創りを目指します。

数年続いた社会保障費マイナスシーリングの呪縛が少なくとも今回だけは解かれ介護報酬は+3%の改定とのことです。当院にも多少温かな風が吹いて経営の安定化に寄与してくれることと期待しています。

の質の高いサービス提供をするため職場環境の整備と人材育成に取り組み職員が安心して利用者サービスに邁進できる魅力ある法人作りに努めています。

救護施設 黎明寮

施設長 吉田 春夫

去年は、米国の金融危機に端を発した世界的な影響でわが日本国も低迷した年でしたが、今年こそは明るい、活力のある一年をと願うばかりです。救護施設の世界においては、生活保護制度創設以来半世紀以上が過ぎ、この間大きな制度改革も行われておらずここ数年見直しの話題がつきない状況ですが、どのような変革になろうとも救護施設の機能を高め前向きに時代の要請に柔軟に応える利用者サービスをめざした施設経営をしていきたいと思います。

# 迎春

社会福祉法人 黎明会

理事長 鈴木 可人

理事・評議員 塩原 埼雄  
常務理事 松田 雅司

医療法人社団塩原会

理事・特別顧問・税理士 塩原 富士雄

元社団法人 小平市社会福祉協議会

理事・評議員 佐野 利昭

常務理事 佐々木 典夫

社会福祉法人 日本文化大学

理事 佐々木 典夫

株式会社日赤サービス

会長 佐々木 典夫

元東京都看護協会

副会長 佐々木 典夫

社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

理事 井上 正夫

診療施設 南台病院

副会長 山田 克浩

社会福祉法人 名誉院長 山田 克浩

社会福祉法人 井上 正夫

社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

理事 井上 正夫

社会福祉法人 診療施設 南台病院

副会長 山田 克浩

社会福祉法人 井上 正夫

社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

理事 井上 正夫

社会福祉法人 診療施設 南台病院

副会長 山田 克浩

社会福祉法人 井上 正夫

社会福祉法人 井上 正夫

## 知的障害者更生施設 澄水園

施設長 今野 志保子

今年は澄水園にとって生まれ変わりの年となります。北区赤羽から越してきて18年、古くなつた建物は、住む人の現状に合わなくなつました。住む人も同じ年数だけ年を重ねたので、畳の部屋もトイレも風呂も、快適さを保障してくれません。自立支援法が、利用者が終の棲家になるかもしれない高齢の障がい者の住環境が粗末ではいけません。そもそも人が幸せに生きる場所は、地域か施設かの単純な二者択一であるはずがない。国と都より、園の現状の理解を得て、急速大規模修繕を開始しました。工事中御不便をおかけします。

## 知的障害者授産(通所)施設のぞみ作業所

施設長 中島辰男

障害者自立支援法成立から3年後の見直し期間もわずかになつてきましたが、現在の状況を考慮すれば、期間内での「抜本的な見直し」はまだまだ困難に思います。特に、地方会、地区会の要望を自立支援法対策特別委員会で検討された見直し項目として、介護保険と障害福祉の完全分離、新たな支援尺度と支給決定プロセスの構築など多くあり、問題山積です。

このようなかな中で当施設は保護者の方々と我々現場の職員が手を取り合つて利用者に質の高いサービスの提供と自立支援に取り組んでまいります。

## 特別養護老人ホーム やすらぎの園

施設長 小林健治

1日に認知症対応型の特別介護棟(現在の2階)を含め100名の定員で開所以来、今年で四半世紀を迎えました。その間、平成18年12月1日に、認知症対応型通所介護事業やすらぎの園いきいきセンター開所で、併設8事業が展開できます。

また、今年度は、介護保険制度4期目で、やすらぎの園も成熟期を向かえ、職員一同、意識改革し、法人内医療・保健・介護事業が一體となって、ニーズに対応できるよう努力いたしますので、宜しくお願い申し上げます。

## 介護老人保健施設 けやきの郷

施設長 高橋源次

この数年、施設の経営は大変厳しい状況に直面してきました。本年四月には介護保険制度の年ごとの見直しが行われますが、制度発足後、初めての介護報酬の引き上げが行われる見込みです。けやきの郷も健全な運営を図っていくため、収入の確保、経費の節約などを更に進めていきたいと思います。

また、法人内他施設と有機的連携を推進し、地域高齢者の皆様やご利用者の皆様の立場に立った質の高いサービスが提供できますよう、本年も職員一同努力してまいります。

## 監事 東京都障害者スポーツ協会

理事・事務局長 関川忠夫

社団法人日本義肢協会 常務理事 宮澤豊  
川畠一良税理士事務所 税理士 川畠一良  
評議員 村田建設株式会社  
常務理事 村田  
学校法人大妻学院 大妻女子大学  
元小平市児童女性部 旭  
参事 関早苗  
知的障害者更生施設澄水園  
保護者会  
東小川橋地区防災対策連合会  
有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷  
支配人 内海和明  
熱海ゆとりあの郷は昭和六十年三月に開設、本年で二十四年が経過したことになります。現在当郷では、二百六十人ほどの方々がお暮らしですが、入居者の皆様の高齢化に伴い、ハーデ面を含めた介護体制のこと、健康管理のことなど様々な問題がございます。私どもはこれらのことについて、一つひとつ着実に対処し、本年も皆様が安心、安全で「すこやかに老い、豊かに生きること」が出来るよう努力してまいります。

この相談に對し、「何とかする」と考えます。本年もどうぞよろしくお願ひ申します。

## 黎明寮・あかつき合同秋祭り

10月19日(日)に、黎明寮としては3回目となる施設内行事【秋祭り】が行われました。

今年は救護施設あかつきとの合同の秋祭りとなり、当日の黎明会グラウンドは非常に賑やかな日となりました。

昨年の秋祭りは、近隣の小学校の行事で子供達の姿が少なく寂しい祭りとなってしまいましたが、今年は日程を決める前に近隣の行事を把握し19日の秋祭りを実施しました。そのため小学生の姿も目立ち、模擬店販売の焼きそば、フランクフルトは昼頃には五百食が完売し、その他の模擬店でも売り切れができる賑わいでした。

また、「昨年に行つたフリーマーケット、昨年に行つた作業所販売を同時にを行い、グラウンドを賑やかにしてくれました。

フリーマーケットは地域の方々に場所を無料で提供し、交流を作ることを目的とし実施しました。スペースの関係で8店舗の募集でしたが、市報や社協便りで宣伝した結果、10月には店舗が埋まる応募がありました。

作業所販売ではアクセサリー、手作りパン、衣類等の販売が行われていました。

イベントは午前の部は黎明寮、午後の部はあかつきと分けて行いました。イベントの内容は、3年連続披露して下さっているなりも

の屋様による手作り楽器演奏、黎明寮利用者が日頃から一生懸命練習している舞踊の披露、キヤツツ愛様による低学年のお子様達のダンス披露、総勢49名のお子様達の大道芸人の大沢様が遊びに来てくれた子供たちを巻き込んで、風船、皿回し等を披露して下さいました。

午後の部はコールコスモスの方々による素晴らしい歌が披露され、プロの方々のバンドが楽器でクリスマスをする等見ていてる方々を楽しませて下さいました。そして八王子から来て下さった方々は、琉球太鼓を盛大に披露して下さいました。

秋祭りは『地域交流』が目的の一つであります。宣伝も小平十二小生徒にチラシを配布したり、フリーマーケットを実施し、地域の建設、生活ホームも「小原」「ハイツ桜ヶ丘」の2つを建設し、13名の人たちが暮らしているそうです。

その「おにの家」から社長(施設長)と専務(入所者)の方が講演者として当日は来所されました。講演内容は普段の活動である「おにの家」で手作りしている「おにっこ味噌」は保存料等の添加物を一切使用せず。また地卵と卵油なるものも平飼いで育てた鶏のものであり、どれもスーパーなどでは手に入らない物だということ、また生活ホームでの暮らしは自由なもので、専務ご自身も勝手に旅行に出かけ数日間帰つてこなかつた事などを、笑顔で話されていました。「おにの家」の運営は、ノーマ

示発表を行ないました。  
舞台発表の中で今回、埼玉県熊谷市坂井にある「おにの家」の方

をお呼びし、講演をしていただきましたが、講演に参加できなかつた方に簡単ですが紹介させていただきます。

「おにの家」名称の由来はひろすけ童話「ないた赤おに」からだそうです。正式には地域福祉活動グループNPO「おにの家」と言うそうですが、始まりはハンディ

のある方もない方も「一緒に働ける場をつくろう」「気軽に遊びに来られる所をつくろう」と、1987年にみんなで小さな味噌屋を始め、その後1996年には直売店の「田舎のカフェおにっこハウス」

が開かれていますが、なんとその祭りには1200人の方がお客様として来られたそうです。共生社会の実現に向けては北海道の「ベテルの家」がありますが、「おにの家」に於いてもハンディのある方が喫茶店や、手作り味噌の販売経営をすることです、地域の方と相互交流の機会を得て、「共に生きる」ことを実践しています。

あかつきとしても、共に地域で暮らしていることを理解していくだけるよう、また障がいに関しても、抽象的な印象をえていくこと、地域の方とふれあう機会を増やしていけばと思います。この黎明会だよりをお読みの方で、もし機会があれば田舎のカフェ「おにっこハウス」で日替わりの、手作りランチなどを頂いてみてはいかがでしょうか、行かれた方は癒されるそうです。

## あかつき クラブ発表会

平成20年10月18日(土曜日)

救護施設あかつきに於いてクラブ発表会を開催しました。普段のクラブ活動や地域のボランティアの方を中心にあかつき4階の集会室や作業場を利用して舞台発表と展

ライゼーションの理念に基づいて、ハンディのある方もない方も共に暮らせる場を作ることであり、施設らしくない施設を目指していることでした。この専務の話を聴いて、興味を持ったあかつきの利用者の方から、どうしたら生活ホームに入りますかと質問が出ていました。

実際、講演前に打ち合わせをしました際も一つ一つの話に社長と専務が目を合わせながら、確認し合い返答していく、普段の間柄が読み取れました。

「おにの家」では毎年4月に市民参加の大バザール「おにっこまつり」が開かれていますが、なんとその祭りには1200人の方がお客様として来られたそうです。共生社会の実現に向けては北海道の「ベテルの家」がありますが、「おにの家」に於いてもハンディのある方が喫茶店や、手作り味噌の販売経営をすることです、地域の方と相互交流の機会を得て、「共に生きる」ことを実践しています。

あかつきとしても、共に地域で暮らしていることを理解していくだけるよう、また障がいに関しても、抽象的な印象をえていくこと、地域の方とふれあう機会を増やしていけばと思います。この黎明会だよりをお読みの方で、もし機会があれば田舎のカフェ「おにっこハウス」で日替わりの、手作りランチなどを頂いてみてはいかがでしょうか、行かれた方は癒されるそうです。

(小林)

ふれあい短信

## 「ボランティアを通して」

黎明寮ボランティア

野本マサ子

黎明寮でボランティアを始めて4年になります。きっかけは勤めていた特別養護老人ホームを定年退職後の生活プランを考えた時でした。健康に恵まれた身体を24時間自分の為にだけ使うことに抵抗感があり、仕事、趣味の登山、ボランティアに3分の1ずつ使うことに決めました。軌道に乗るまで2年位掛りましたが今はリズムができ、各々に充実しています。屋外活動が好きな為外出ボランティアを希望し、御希望を聞きながら花見、墓参り、動植物園、公園、買い物、時には映画鑑賞、そして最近上水道沿いに出来た足湯にと活動する中で一番心していることは、お預かりした状態でお帰り頂く(怪我など無いよう)事とリラックスして楽しんで頂く事で、活動の終わりに「ありがとう。」とっこりされた笑顔を見るとこんな私でも少しは役に立っているのかなあと嬉しくなります。最初から特定の方を担当しているので、今では会話が途切れても以心伝心

みたいな空気があって退屈するとか疲れるということがなく、長く続いている秘訣かなあとと思うこの頃です。

「○○さん昼はご飯と麵どちらがいいですか。」「○○さん「ご飯がいいなあ。」店を選んでメニューから選んで頂く。カツ丼、うな重、親子丼なんて言わると太り気味で運動不足なので」と言う職員の方のお話がチラッと頭をかすめる。でも私は「たまにだから好きな物を食べましょ」と。でもそういう時は少し遠回りして多めに歩いて頂くようにする。おやつも甘い物を希望されるので出来るだけ低カロリーの物をお勧めする。食べた後の満足そうな顔、お見せしたいです。

活動を通し私自身も元気をもらいまます。これからも時間の許す限り、寮の行事などもお手伝いさせて頂きつもりですので、一声掛けて頂ければと思いますので今後ともよろしくお願ひします。

## 黎明会秋季総合防災訓練

11月14日16時より、小平消防署小川出張所様と東小川橋防災対策連合会様のご協力をいただき実施しました。

今回は夜間夕食前を想定し夜勤者2名、宿直者1名の3名体制で火災発生、避難誘導訓練を実施しました。

地下機械室より出火、夜勤者2名が現場確認、初期消火と2階・3階の利用者避難を実施、宿直者が実際に119番通報訓練。

黎明寮以外の同法人他施設職員及び東小川橋防災対策連合会様に応援を要請。他施設職員は3階逃げ遅れ利用者避難誘導補助、

東小川橋防災対策連合会の皆様には車椅子・歩行器使用者及び

1階利用者の避難誘導を行って

いただきました。消防署到着後、

状況報告・現状対応・避難確認報告を実施し訓練を終了。その後、通報訓練と初期消火訓練を参加職員等が消防署員の指導の下に行いました。



最後に小平消防署小川出張所様と東小川橋防災対策連合会様にご出席をいただき反省会を実施、新たな課題等も見えてきました。今後とも東小川橋防災対策連合会様並びに地域の皆様との協力体制を密にし、より安全で快適な施設生活の提供を目指していきたいと思います。

(佐藤登)

給食センターでは、11月6日及び20日やすらぎの園入居者の皆様の毎日の楽しみの一つである食が、どのように作られているかを知つていただきたくため職員によるマグロ等の解体を実施しました。今回は大漁旗を掲げ、カラオケを流すなど雰囲気づくりに配慮し、初めてマグロ一尾を台に載せ各テーブルを回り、その後、切り落とした頭も見て触つていただきました。

さあー、腕の見せどころ

（清水）



さあー、腕の見せどころ

特に、マグロは人気があり、利用者の方より、もう少し食べたいという声に対してもぐろの握りの追加もあり、楽しい雰囲気の中での食事会となりました。給食センターとしては、利用者さまから「美味しい」とのご感想をいたしました。

ただ、大好評のうちに利用者の方々との交流ができることは今後の励みとなります。

この説明会は、東小川橋自治会の要望で開催ましたが、その内容は、①地域包括支援センターの役割、②黎明会における介護保険関連サービス、③施設見学で、雨にもかかわらず20人ほどの皆様が参加されました。

講師は、地域包括支援センターの池島所長と職員、南台病院の戸石看護部長が行いました。

地域包括支援センターの役割については、①介護や健康のこと（介護予防マネジメント）、②権利を守ること（権利擁護）、③暮らしやすい地域のために（包括的・継続的ケアマネジメント）、④さまざまな相談ごと（総合相談）を担当しており、高齢者の相談ごとは、何でもお応えしますという役割を担っていることを説明しました。

## お魚活き活きショーコード

地域高齢者のさまざまな相談にお応えします。

けやきの郷施設長 高橋源次

「けやきの郷」では、地域の高齢者の皆様を対象とした介護保険説明会を、12月5日午後2時から家族介護教室で開催しました。

この説明会は、東小川橋自治会の要望で開催ましたが、その内容は、①地域包括支援センターの役割、②黎明会における介護保険関連サービス、③施設見学で、雨にもかかわらず20人ほどの皆様が参加されました。

講師は、地域包括支援センターの池島所長と職員、南台病院の戸石看護部長が行いました。

地域包括支援センターの役割については、①介護や健康のこと（介護予防マネジメント）、②権利を守ること（権利擁護）、③暮らしやすい地域のために（包括的・継続的ケアマネジメント）、④さまざまな相談ごと（総合相談）を担当しており、高齢者の相談ごとは、何でもお応えしますという役割を担っていることを説明しました。

また、各種相談事例、自立支援事業、脳の健康教室、認知症センター養成講座、見守り事業、訪問給食サービスなども説明しました。



高齢者の相談は何でも！

これからも、施設を地域の皆様に知つていただく努力をしていきたいと思います。

次に、黎明会における介護保険サービスについては、やすらぎの園、けやきの郷、訪問看護ステーションの事業内容と、今年度新設されたサービス総合調整室による事業所間の連携、その他、認知症の方へのかかわり、一般的な精神障害の方へのかかわりについて説明しました。

その後、けやきの郷の施設見学では、雨天でしたが、屋上の緑化、入所・通所・リハビリの各フロア、お風呂について見学をしていただきました。

これからも、施設を地域の皆様に知つていただく努力をしていきたいと思います。

## 施設リポート

### ◆平成20年度

#### 第2回理事会・評議員会

平成20年9月12日14時からアルカディア市ヶ谷において、平成20年度第2回理事会・評議員会を開催しました。

会は理事長の挨拶で始まり、就業規則の一部改正案、知的障害者援護施設「澄水園」の施設整備の実施案等について審議し、全会一致で承認されました。

(岩本)

### ◆黒部ダム一泊旅行

のぞみ作業所では、10月23・24日で、利用者43名、職員とボランティア15名で黒部ダムに一泊旅行にいきました。

（中島）

一日目は、山梨でぶどう狩り、昼食はほうとう鍋、そしてわさび農園を散策し、早めにホテルに着きました。夜は疲れを温泉でとり宴会が始まり、もちろんカラオケで盛り上がり二日目は、小雨の中、トロリーバスに乗り黒部ダムに到着、雨はあがり時折り陽がさし始め、ダムの水は青く山々は赤、黄に色づき紅葉がとても奇麗でした。帰りは安曇野スイス村で昼食の後、想い想いのお土産を買いました。

(中島)



のぞみ祭り

### ◆のぞみ祭り

「のぞみ作業所」では9月20日(土)午後4時から7時30分まで、グランドで利用者、家族と近隣の方々200名が参加され、のぞみ祭りを開催しました。

当日は、台風13号が去り好天の

中、大勢のボランティアのご協力を得て、やきそば、やきとり、フランクフルトなど多くの模擬店を実施、人々に全品なくなり、また外部団体の方々もクッキー、パン、ポテトチップスなどの出店で売り上げ好調でした。アトラクションは、大道芸、紙芝居、ハーモニカ演奏などがあり子供さんたちは大喜び、終わりに花火を打ち上げ大盛況のうちに終了しました。

(中島)



沖縄エイサー

### ◆けやき祭り

介護老人保健施設『けやきの郷』では、11月23日に1階デイケア及びリハビリ室において、入所・通所のご利用者とそのご家族などが参加され、けやき祭りを開催しました。

当日は、焼きそば、おでん、クレープやゲーム、喫茶店やバザー

コーナーなどの模擬店が開かれ、大盛況でした。また、骨密度測定など健康チェックコーナーも好評でした。アトラクションでは、ボランティアや職員による和太鼓や木遣り、沖縄エイサーそしてポップスと盛りだくさんで、大いに盛り上がりました。けやき祭りを支えてくださった多くのボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

(足立)

### ◆一泊旅行

救護施設黎明寮では、10月21日から22日の一泊二日にて、伊豆・熱川方面の一泊旅行を実施しました。

参加者は利用者16名と付添い職員6名の計22名であり、ホテルにおける豪華な食事と、バナナワニ園、洋ランパークの見学を大いに楽しみました。

一泊旅行は黎明寮利用者にとって一年に一回の大きな楽しみであり、お土産をいっぱいに買い込み、充実した旅行であつたとの感想を多くの利用者よりいただきました。

(小泉)

## お 知 ら せ

### 黎明会自衛消防隊、表彰される

秋の火災予防運動に当たり、積極的に災害の未然防止に努めた功績により、東京消防庁小平消防署長から表彰されました。

(岩本)

### 南台病院、感謝状贈呈される

南台病院は、平成20年11月7日、積極的な消防行政の推進に尽力した功績により、小平消防署開署三十周年記念式典において感謝状が贈呈されました。

(都丸)

